

【KSKQ】 2025 年 5 月号 No.237



あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認



毎月(1・2・3・5・6・8)の日発行

一泊旅行はなかなか難しいけど、日帰り旅行なら気軽に行けるよね！！
という事で、グループホーム・あいえるとグループホームほんわかの皆さんが、
班に分かれて、日帰りミニ旅行に出かけました！

行き先は、名古屋、神戸南京町、和歌山、りんくうタウン、ATC、舞洲のスポセン！
みなさん、美味しいものや良い景色を満喫した一日を過ごしました。



○牧口一ニさんを語り合う会へのお誘い(障害者のついでと)

——『牧口一ニさんを語り合う会実行委員会』からのご案内です

○利用者に聞いてみよう！(支援？介助？)

——モニタリングについて紹介します

○グループホームの外出が危な…かったε-(´▽`*) (制度のア・レ・コ・レ)

——グループホームでの重度訪問介護に関する事例について紹介します



あいえる協会
公式サイトはこちら

*** 障害者のついでと ***

牧口二さんを語り合う会へのお誘い

※この記事は、障害当事者運動に尽力され、昨年9月26日に逝去された、牧口二さんについて語り合う『牧口二さんを語り合う会』の発行委員会からのご案内です。



「心はね、人と人の間にあるんだ」

牧口二さんは、友人の精神科医が語ったこの言葉をとても大切にしていました。私たちは一人ひとりが自分の中に閉じているのではなく、他の人たちとのつながりの中で生きている。だから彼は「障害の社会モデル」という言葉が登場するずいぶん前から、「『障害』は他の人や社会との間に生じる」と語っていました。

昨年9月26日。87歳で旅立った牧口さんは、私たちに両手で抱えきれないほどの置き土産を遺しました。障害当事者運動が花開いた1970年代に『われら何を掴むかー障害のプラス面を考える』を世に問い、その後も多くの障害者運動の現場に身を置きながら「ちがうことこそ、ええこっちゃ！」の旗を掲げて子どもたちに語りかけ、社会の常識に挑み続けました。その根っこにはいつも、一人ひとりを、そして一人ひとりの間に生まれる関係を大切にしたいという思いがあったような気がします。

そんな牧口さんは、たくさんの人たちとつながりを作り上げました。堅苦しいことや形式張ったことが嫌いで、柔らかくみずみずしい発想を大切にしていました。ですから「語り合う会」では、それぞれが「私にとっての牧口さん」を描く絵筆を持ち寄り、勝手にわいわいと色を足して、天国の牧口さんに「どっこい、みんな生きてるで！」という声を届けられればと思います。この国や世界でいま、一人ひとりの命や自由がないがしろにされていることを、きっと彼は気にかけているでしょうから。

みなさまにはご多忙の日々を送られていることと思いますが、万障お繰り合わせの上ご参加頂きますよう、ご案内を差し上げます。

■日時：2025年8月18日(月)14時30分～19時30分

■場所：大阪府教育会館たかつガーデン8F

■会費：語り合う会 2000円、懇親会 3000円(いずれも記念誌付)

牧口二さんを語り合う会実行委員会・連絡先

ゆめ風基金 TEL:06-6324-7702

参加をご希望の方は、こちらのフォームより申し込み下さい



*** 支援？介助？ ***

利用者に聞いてみよう！

～『モニタリング』って知ってますか？ Part 2～

今回は、モニタリングの場で工夫していることについて紹介します。例として、私が関わっているMさんのケースをあげます。

～本人の想いは？～

私がMさんとのモニタリングで大切にしているのは、本人主体の選択と支援者からの働きかけの両方を意識することです。

Mさんは、施設での生活を経て当法人に来られました。グループホームで過ごされ、その後地域での一人暮らしをされています。Mさんには気持ちの浮き沈みが激しい面があります。前向きな時は、自分の希望を周りに伝え、余暇活動を楽しまれています。一方、落ち込んでいる時は、自身で考え行動する事がおっくうになり、支援者に協力を仰ぐ場面が多くなります。最近は、Mさんの気持ちが下降気味だった為、支援者の働きかけが必要となっていました。そんな中、Mさんから「休みの日に何かしたいけど、自分だけでは考えられない。一緒に考えてほしい」と発信があった為、モニタリングで時間をとって、一緒に考えることになりました。

～本人の楽しみにつなげるために～

話し合う上で、Mさんがイメージし易いように、イベントや外出スポットについての情報をまとめた資料を見てもらいました。すると、少しずつMさんからも新たな要望を伝えてくれました。やりとりを重ねる中で、Mさんから「以前行った日帰り旅行楽しかった。また行きたい」と発信がありました。選択肢を広げた上で、Mさんが自分でやりたいことを決めた瞬間でした。目標が定まってから、Mさんは行きたい場所や食べたい料理のことなど笑顔でたくさんお話をするようになりました。そこでMさんの希望を元に、日帰り旅行のイメージをわかりやすく伝える為に、旅のしおりを作りました。完成したしおりを見て、Mさんは「すごく楽しみ(^)o(^)」とお話されました。

～本人の意思決定を大切に～

ニーズや困りごとは、利用者によって違うものです。そのため、モニタリングで利用者の思いを汲み取って状況を把握し、適切な支援につなげるのは大切なことであり、難しい部分でもあります。

だからこそ、本人が何を必要としているか見極めるために、さまざまな工夫をする必要があります。聴く、尋ねる、伝える……あらゆる面で試行錯誤を繰り返しています。その積み重ねが「自分らしい暮らし」につながると信じて、私たちは目の前の利用者に向き合い続けていきます。

(文責：栗本)

*** 制度のア・レ・コ・レ ***

グループホームの外出が危な…かったε-(´▽`*)

今回は私たちのグループホーム（以下GH）で実際に生じた制度課題の事例を紹介します。

居住地特例で他市から入居されているAさんは、常時介助や見守り、声掛けなどのサポートが必要なことから、個別ヘルパーを利用して生活されています。休日は日中に重度訪問介護（以下重訪）を利用して映画鑑賞やゲームセンターでレースゲームなどを楽しまれ、時々自宅でゆっくりされます。グループホームで生活をされてからは、月に二度実家に帰省していましたが、ご家族さんがけがをされ、帰省することが難しくなり、土日の日中に使う重訪の延長申請を支給決定市（以下B市町村）に行いました。しかし、B市町村が都道府県や国に確認をとって返ってきた答えは「基準省令はGH『内』ではヘルパー利用可であり、GHの屋外では利用できない、外出はしてはならない」というものであり、これまで利用してきたことが誤りであるとされました。

そのため、私たちは法人として、国や都道府県と折衝を重ねてきました。そうした中、2008年の国資料に「…重度訪問介護又は行動援護の対象となる利用者が、通常の外出とは別に外出する場合には、共同生活介護と別に重度訪問介護又は行動援護を利用することができる。」と明記されていたことから、これをもって国と協議の結果、『重度訪問介護での外出はできる』と判断されました。

その後、B市から「申請日に遡って時間数延長決定される」との連絡があり、無事受給者証も到着しました。

常時見守りが必要な障害者にとって、GHでの個別ヘルパー（重訪）利用は必要な制度ですが、今回のケースがもし認められなかった場合、GH入居者はGH内で重訪利用ができてホームに居なければならなくなり、外出ができなくなるといった問題にもなっていたのではないかと思います。

GHのヘルパー利用については、今後もいろいろな課題が出てくる可能性があります。地域で生活する障害当事者がいないがしろになるような制度解釈・運用がされないように、私たち支援者も注意していかなければいけません。



(文責：天満)

お知らせコーナー

みんなのぬくぬく～祝 10 周年～

- 次回ぬくぬくスケジュール ■
- 5月21日 6月18日
- 一番人気はミックスジュース!



障害者福祉の動向

- 2月21日…三重大学、iPS細胞を用いた研究でダウン症の原因染色体の除去に成功
- 3月11日…特定技能外国人の訪問系サービス従事を認める閣議決定
- 3月21日…厚労大臣、介護職への特定最低賃金の導入を検討すると述べる
- 3月27日…旧優生保護法の全面解決に向けた被害者側と国の初会合
- 3月27日…障害福祉職員と全産業の賃金差約8万円と厚生労働省試算

★ヘルパーさん大募集★

時給：1350円～

勤務地：住吉区・西成区の一部

勤務日：週1日～OK!※応相談!

連絡先：ヘルプセンター・ホップ
住吉区殿辻2-2-27 野村ビル201号室
TEL:06-6676-2010

藤本さん、きみまる爆笑ライブに行く。

藤本さんが綾小路きみまるさんのライブに行った時の様子を紹介します



住吉区地域自立支援協議会

■障がい者の暮らし何でも相談■

日程：5月28日(水) 11時～14時 住吉区役所にて



編集人・発行人

■編集人■

社会福祉法人あいえる協会

〒558-0042 大阪市住吉区殿辻2-2-27 野村ビル201号室

TEL:06-6676-2010 FAX:06-6676-2011

郵便振替口座 00960-5-137458 年間購読料 600円(定価100円)

■発行人■

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

社会福祉法人あいえる協会

法人本部

ヘルプセンター・ホップ

自立生活センター・まいど

グループホーム・あいえる

グループホームほんわか

ウィル

ライフ・ネットワーク

ピア・エンジン(分所)